

看護

ながの

2024.9.1

No. 140



公益社団法人
長野県看護協会



特集

2024年度定時総会 — P2

会長挨拶・受賞者名簿

職能集会 ————— P3

職能委員長・役員の抱負 ——— P4-5

支部長抱負・事業計画 ————— P6-7

委員会のあいさつ・理事会報告 — P8

賛助会員

NuPS (ナップス) のご案内 ——— P9

つなぐ看護 ————— P10-11

お知らせ広場 ————— P12



別冊 看護師職能委員会Ⅱ日より

かんごちゃん わさび田へ

2024年度定時総会報告

会員数／13,868名(2024年6月15日現在)・総会参加者／209名・委任状／11,292名 総会成立
提出議案も承認され、新しい理事も信任されました。

会長挨拶

公益社団法人長野県看護協会 会長 松本 清美



6月15日に2024年度長野県看護協会定時総会を無事に終了いたしました。

久しぶりに一般参加の皆様にもご参加いただき、ご来賓の皆様もご列席のなか、長年にわたり長野県看護協会に貢献いただいた名誉会員ならびに、各受賞者の皆様とともに総会を開催できたことに心より感謝申し上げます。今年度はZoomを活用し総会の様子をお届けすることができました。



総会において理事、監事併せて14名が変わり、新たな体制での運営が始まりました。

2023年度の事業報告、決算報告を承認いただき、今年度の重点事業として4つの柱を皆様にお伝えし、討論することもできました。2025年に向けて策定した「長野県看護協会将来ビジョン」を評価し、新たに2040年に向けての新ビジョン策定を重点の一つに掲げました。日本看護協会も現在新ビジョンの策定に取り組んでおりますが、会場の会員の方から、長野県の会員が共感し、進んでいけるような長野県看護協会の特色あるビジョンの策定について現場の厳しい実態と共にご要望をいただきました。新ビジョン策定にはこれからの長野県の看護職の目指す姿について、会員の皆様の声をお聞きしながら進めていきたいと考えております。

今後ともご協力よろしくお願いたします。

受賞者名簿

日本看護協会名誉会員	日本看護協会会長表彰	長野県看護協会名誉会員
清水久美子	松本あつ子 土屋 恭子	三輪百合子

長野県看護協会会長表彰

富岡真理子	滝沢 紀子	矢島 敦子	矢嶋ちか江	大河原あゆみ
滝澤ひで子	武川 千鶴	西村 妙子	池上由美子	中山ゆかり
小椋 悦子	那須野寿子	市瀬由里子	筒井 正子	中島ひとみ
胡桃 伸子	永田 賢子	青柳美恵子	青柳 陽子	青木かおる
町田 和世	竹内 修子	山口 洋子	小林 厚子	佐藤 恵子
半藤 徳子	市川 明子	坂本 洋子	宮沢美津子	

[長野県知事] 保健衛生表彰(看護功労)

齋藤 順子	近藤世音子	三橋真紀子	中澤みな子	黒岩 直美
大沢 君枝				

[長野県知事] 保健衛生表彰(感染症予防)

水内 豊



2024年度日本看護協会・県看護協会表彰 受賞者



2024年度県知事表彰 受賞者

職能集会

職能集会は、会場とオンラインを併用して、活動報告と講演会・シンポジウムを開催しました。

保健師職能

研修室
2

「保健師活動において
変わらないもの変わるもの」

講師：松本 清美
長野県看護協会会長

松本会長は、これまでに保健福祉事務所、看護専門学校等様々な場所で、“ライフワークとの出会い”や“企画の楽しさ”を見つけ、経験を活かしながら保健師活動をされてきています。

講演の中では、これからの保健師にとって特に大事な5つの能力についてグループワークが行われ、グループメンバーがお互いの意見に耳を傾け、共感し合い、活発な意見交換と共有が図られました。

保健師を取り巻く環境は大きく変化し、時代に合った活動を積み重ねて展開してきています。複雑化・多様化した健康課題に対峙し、協働やつながりを持って、あるべき姿の実現に向けて動き出す役割を担っている保健師にとって、とても大きなエールが送られた講演会でした。



講演会の様子

助産師職能

研修室
3

「型にはまらない助産師の働き方
～助産師の多様な活躍の場を考える～」

シンポジスト：原山 奈々 市立大町総合病院
池尻 由美 Mom's sun産後ケアBASE

少子化や産婦人科医不足等により分娩業務が減少してきており、後輩の育成困難やモチベーションの低下など様々な課題がある中、時代の流れの変化に順応され、社会が望む助産師の役割を拡大し日々働かれています。

原山さんは、分娩中止となった病院で様々な困難を乗り越えながら、地域から求められる存在として活動されています。

池尻さんは、ご自身の育児の経験から、孤独に悩みながら育児をしている母親に対し「人ごととは思えない」という強い気持ちから起業され、地域の母子に切れ目のない支援をされています。

お二人のお話を拝聴し、寄り添う力を活かした多様な活躍の場について知り、多岐に渡る助産師の仕事は、女性の一生に寄り添える素晴らしい職業であることを改めて実感しました。



看護師職能 I・II 合同

4階
大ホール

「喜びの連鎖を生む会社を目指して
～サラリーマン女将を経た社長の挑戦～」

講師：白鳥 和美 諏訪湖リゾート代表取締役

品のある紫陽花の着物がよく似合う白鳥さんは、大学を卒業後、諏訪にあるRAKO 華乃井ホテルの一従業員として就職し、その行動力と決断力、人柄をグループの会長に評価され、ホテルの女将から、現在は諏訪湖リゾートの代表取締役を務めていらっしゃいます。

お客様の中には、理不尽な要求をする、いわゆる「カスハラ」の問題や、コロナ禍においてお客様や従業員の安全を守りながら乗り越えた事、従業員の人手不足など、医療現場でも共通するような様々な問題を先頭に立って取り組まれた事を、ユーモアを交えながら語っていただきました。

ホテルや旅館はお客様の「命を預かる場所」「命を守る仕事をしている」という信念のもと、管理職と従業員の垣根をなくし、仲間を思いやり、人と人との繋がりを大切にしながら、新しい事にも挑戦し続ける白鳥さんの力強い言葉に、明るく励まされ、前向きな気持ちになる講演会でした。



(職能集会は広報出版委員会で取材しました)



職能委員長の抱負

保健師職能委員会

委員長 岩下 由美



保健、医療、福祉、教育、産業等保健師が働く領域は多岐にわたっています。日本が抱える少子高齢化社会において、健康な育ちを支え、健康寿命の延伸と人々のQOLを高めるため、諸事業を多職種連携により実践できるよう、「みて・つないで・動かす」保健師の専門性をより深化させるべくラダーに応じた人材育成研修を引き続き開催します。皆様のご参加をお待ちしています。ともに学びましょう。

岩下 由美	保	東御市役所
荻原 炎	保	南牧村役場
富島 幸代	保	南箕輪村役場
仁科茉莉佳	保	山形村保健福祉センター
上田 真紀	保	中野市役所

倉澤 薫	保	上田保健福祉事務所
窪田 真弓	保	富士見高原医療福祉センター
塩嶋 幸代	保	池田町役場
赤沼智香子	保	須坂市役所

助産師職能委員会

委員長 山名 寿子



超少子高齢化のなかで、安全で安心な出産環境、産後の支援、女性とその家族の健康支援など助産師に期待されるニーズは多様化と共に複雑化しています。病院や施設のなかだけではなく、地域で生活する様々な女性の生涯を支援できる助産師の実践能力強化と多職種との連携が求められるなかで、助産師の専門性が発揮できるように、人材育成、働き方など委員会を通じて県内各地の意見を集約し、助産師同志の連携や課題解決に向けて取り組みます。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

山名 寿子	助	松本市立病院
田玉 楓佳	助	信州上田医療センター
小沢美由紀	助	飯田市立病院
加藤 文穂	助	信州大学医学部附属病院

柳澤 陽子	助	浅間南麓こもろ医療センター
北澤 理恵	助	県立こども病院
米澤美代子	助	長野赤十字病院

看護師職能委員会 I

委員長 堀内 清美



2040年に向けて少子超高齢化、人口減少が進む中、多様化するニーズに対応していくためには看護の専門性を高め、看護職だけでなく、多職種とも連携を強化していかなければなりません。看護職が働き続けるためには、働き方改革を推進し、処遇改善だけでなく就業継続が可能になるよう勤務体制や勤務環境を整えていく必要があります。現場の声を集約し、課題解決につなげられるよう取り組んでいきたいと思ひます。皆様のご協力をお願いいたします。

堀内 清美	看	佐久医療センター
山口 明	看	国保依田窪病院
河内 弥生	看	諏訪中央病院
片桐あけみ	看	信州木曾看護専門学校
佐倉 志野	看	城西病院
宮崎 恭子	看	長野松代総合病院

古村 明美	准	町立辰野病院
坂口真由美	看	佐久総合病院
勝又 久美	看	県立阿南病院
五味めぐみ	看	市立大町総合病院
芋川 由香	看	北信総合病院

看護師職能委員会Ⅱ

委員長 吉澤 美保



看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等）領域で働く看護師を対象に、昨年度実態調査を行いました。仕事のやりがいや魅力に対する満足度は89%と高く、利用者や家族への直接的な関わりとサポートに最も魅力を感じている一方、人材育成に関して等の課題もわかりました。この結果をもとに、働きやすい環境づくりと看護の質向上を目指して活動していきたいと思います。高齢化が進み地域包括ケアシステムが推進されている現在、ますます病院と在宅で働く看護師が情報交換し「つなぐ看護」を提供することが求められます。今年度も看護師職能Ⅰとの合同研修会を計画しています。住み慣れた場所でその人らしい生活を支え、医療と介護の連携役として多くの方のご参加をお待ちしています。

吉澤 美保	看	老人保健施設はびろの里	杉山慎太郎	看	グループホーム陽気
裕沢 育実	看	御所苑訪問看護ステーション	宮下 節子	看	木曾訪問看護ステーション木曾ケアマネジメントオフィス
丸山美由生	看	南松本訪問看護ステーション	高橋富美子	助	松本市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所
中曾祢澄子	看	ニチイケアセンター篠ノ井中央訪問看護ステーション			



役員の抱負

准看護師理事

齊藤 礼子



昨年は約30年ぶりの「看護師等の確保を促進する為の措置に関する基本方針」の改定がありました。看護職を取り巻く環境は日々変化し、処遇改善、資質向上、就業継続は大きな課題であり、准看護師制度をめぐる問題も継続しています。医療や看護を支える准看護師の皆様が、不安なく将来看護師資格を考え、生き生き働き続けられる為に日々研鑽致します。また、看護協会の理念実現に微力ながら努力して参ります。よろしくお願い致します。

監事

野本 博之



「公益社団法人」とは「税務上の恩典が与えられた一般社団法人」です。税務上の恩典を受けるために事業内容、ガバナンス、財務三基準の厳しい要件をクリアしていかなければなりません。一方で組織の発展を遂げていく必要があります。長野県看護協会が両者のバランスを取りながら大いに社会貢献できるよう、また、令和7年度施行の改正公益認定法にスムーズに対応できるよう、過去の経験を活かし、監事としてサポートしていきたいと思ひます。

監事

菅沼 ふじ子



長野県看護協会は前身の支部時代から73年が経過し、この会館も平成8年に新築し「看護総合センターながの（2012年看護協会会館に改称）」として県看護協会の拠点としての役割を果たしてきました。この長い歴史を持つ職能団体が、持続可能な組織として活動し、どのような形で後輩に引き継いでいくのか。いま私たちが考えなくてはならない課題だと思ひます。一方喫緊には人員確保、育成・DX化等課題は山積していますが、皆様と一緒に考えて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

支部長抱負・事業計画



佐久 支部

美斉津哲夫



この度、佐久支部の支部長になりました美斉津です。

ここ数年を振り返ると、感染症や自然災害など不測の事態がいつ起こるかわかりません。佐久支部としては、支部役員と協力し看護の力を高め、連携を強化することで地域の人々の健康を守るように努めたいと思います。また、少子化による看護職不足が問題視される中、若年層の方にも看護のすばらしさを実感して頂く取り組みを実践していきたいと思っています。宜しくお願ひいたします。

上田 支部

山本 理恵



今年度より上田支部の支部長となりました山本と申します。看護協会、支部の役員、関係する方々との関りや活動を通し、実り多い2年間となるよう精進して参ります。

上田支部の主な活動は、意思決定支援と災害看護の研修会開催とまちの保健室となります。支部のニーズの把握に努め、「つなぐ看護」「地域包括ケアシステムの推進」に貢献できる活動を目指していきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。

諏訪 支部

山本 敏哉



今年度より支部長になりました、山本敏哉です。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更となって以降、さまざまな社会活動もどっています。今年度諏訪支部では、市民公開講座も含め4回の研修会と、まちの保健室を開催します。人々の健康を守り地域での暮らしを支える看護職が、元気でいきいきと働き続けられる社会の実現のために、役員と共に支部活動を進めたいと思います。会員のみなさまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

伊那 支部

向村いつみ



伊那支部長の向村いつみです。支部活動を通じ、地域で働き続ける看護職を支援していきたいと考えます。支部研修では「触れることの大切さ」をテーマに手と目で観察する看護の基本に戻ってタッチングケアを学びます。多職種研修会では「病院看護師に期待すること」をテーマに異なる立場の医療職が思いを共有します。

一方で、地区理事としては長野県看護協会の基本理念に沿い、重点事業への積極的に関わりながら、看護協会員の増員に向けて努力していきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。

飯田 支部

北沢百合子



長野県看護協会地区理事の北沢と申します。飯田支部では、普段は病院の看護部長が支部長になりますが、13年に1回という周期で保健師が支部長となりました。

今年度は、看護協会の会員が減る中で、保健師の会員増加と各研修会の保健師の参加の増加を目指していきます。また、将来ビジョンを立てていく中で、地域医療を確保していくために、若いうちからの教育体制を整えていくことも、地域医療構想の中で前向きに検討していきたいと考えています。

木曾 支部

草刈由美子



今年度から木曾支部の支部長になりました草刈です。

木曾支部では、市民公開講座「骨と筋肉同時に鍛えて、健康寿命を延ばそう！～ゆるスクワットとかかと落としで若返り～」支部研修「ACPの進め方～雑談から広げよう！聴こう！大切につなげよう！～」をテーマに企画しています。看護・介護職、地域の皆様に貢献できるような活動をしていきたいと考えています。ご支援とご協力を願います。

松本 支部

西沢 博子



今年度から支部長になりました西沢と申します。今年度は支部研修を4回（市民公開講座2回）、まちの保健室の開催を予定しています。会員の皆様や地域の方々のお役に立てるように、支部役員と協力して活動していきたいと思えます。また、今年度は長野県看護協会の将来ビジョンを作成する重要な年です。多様な勤務場所で働く看護職の皆様と情報共有を行い、得られたご意見を発信して「つなぐ」ことができるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。

大町 支部

大西めぐみ



この度、大町支部の支部長となりました大西です。理事の責任の重さを日々実感しています。協会の役割や支部活動の目的を学びつつ、他施設の方々と交流ができるのは、楽しみであり、大変良い刺激となっています。

今年度大町支部では、「人を知り、ストレスから自由へ」の市民公開講座を計画しています。地域とのつながりを意識して「つなぐ看護」の実践のため、支部役員とともに活動していきます。会員の皆様のご協力をお願いします。

長野 支部

臼井 豊子



今年度より、長野支部の支部長になりました臼井豊子と申します。長野支部では、4年目となる減災研修（災害図上研修）と、認知症をテーマとした市民公開講座及び支部研修、まちの保健室を企画しています。

「つなぐ看護」を意識しながら、看護職だけでなく地域の皆様にも求められる活動になるよう、皆さまのご協力をいただきながら支部役員と共に取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。

北信 支部

下田智恵美



この度北信支部の支部長となりました下田智恵美と申します。まちの保健室活動や研修等、支部活動を通し、地域の皆さんとも触れ合う時間を多く持てればと考えています。7月の高校文化祭では看護体験を企画し、多くの方々に来場していただきました。

また、9月には他職種連携研修として「自分らしく生きるために～アピランスケアについて～」を予定しています。支部役員と共に進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員会のあいさつ

推薦委員会

推薦委員会は、総会において選挙される役員等の適正な推薦を行うために調査・企画・審議し、会長に助言することを目的として活動します。看護協会に所属している各々の職種や地域に偏りが無いようにバランスシートの作成・調査を行い、役員・各職能・支部長との連携を図り、適正な推薦を行ってまいります。よろしくお願いいたします。

真木 喜子 助 昭和伊南総合病院	吉田 千佳 保 松本協立病院
瀧澤 亜矢 看 川西赤十字病院	中村 鈴美 看 長野松代総合病院

選挙管理委員会

選挙管理委員会の任務は長野県看護協会の選挙が公明かつ適正に行われるよう配慮する事です。その上で選挙に関する公示から当選者の総会議長への報告までの事務を行います。短い任期ですが選挙当日には円滑な選挙が行われるよう委員会として取り組んでゆきたいと思っております。

江原 葉子 看 佐久穂町立千曲病院	西村 茜 看 穂高病院
高橋美智代 看 安藤病院	久保田美保 看 北アルプス医療センターあづみ病院
武井由貴子 看 信濃医療福祉センター	柳澤 佑佳 助 県立信州医療センター
島田 基 看 こころの医療センター駒ヶ根	溝口 宏介 保 北信総合病院

2024年度 理事会報告

第3回理事会 (6月28日開催)

〈協議事項〉

1. 2023年度事業報告に係る県への定期提出書類について
2. 長野県看護協会将来ビジョン2.0策定懇話会の委員選出について

〈報告事項〉

1. 日看協理事会報告
2. 2023年度監査報告について (監事意見書)
3. 2024年度長野県看護協会定時総会及び職能集会の振り返り
4. 2025年度県への要望について

〈その他〉

会長講話

第4回理事会 (8月5日開催)

〈協議事項〉

1. 2025年度長野県看護協会定時総会及び職能集会について
2. 「令和5年度監査報告書」に対する対応について
3. 賛助会員の承認について

〈報告事項〉

1. 日看協理事会報告
2. 長野県看護協会将来ビジョン2.0策定懇話会について

〈その他〉

支部活動事業について

賛助会員 第2号・3号決定!

「株式会社ウェルライフ信州」様が賛助会員の第2号に第2回理事会で、「公益社団法人長野県介護福祉士会」様が第3号に第4回理事会で承認されました。ありがとうございます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

賛助会員募集中

賛助会員は、長野県看護協会定款第5条により、本会の目的に賛同し、看護の質向上等を援助する個人又は法人もしくは法人格のない団体です。賛助会費を納めていただくと、特典として本会の機関紙や印刷物を無償で受け取ることができ、「看護ながの」に広告を年1回無料で掲載することができるほか、名称が協会会館内に掲示及びホームページに掲載されます。

ご支援いただける個人・団体の皆様、どうぞよろしくよろしくお願いいたします。お待ちしております。



看護職向けキャリア支援サイトNuPS（ナップス）のご案内

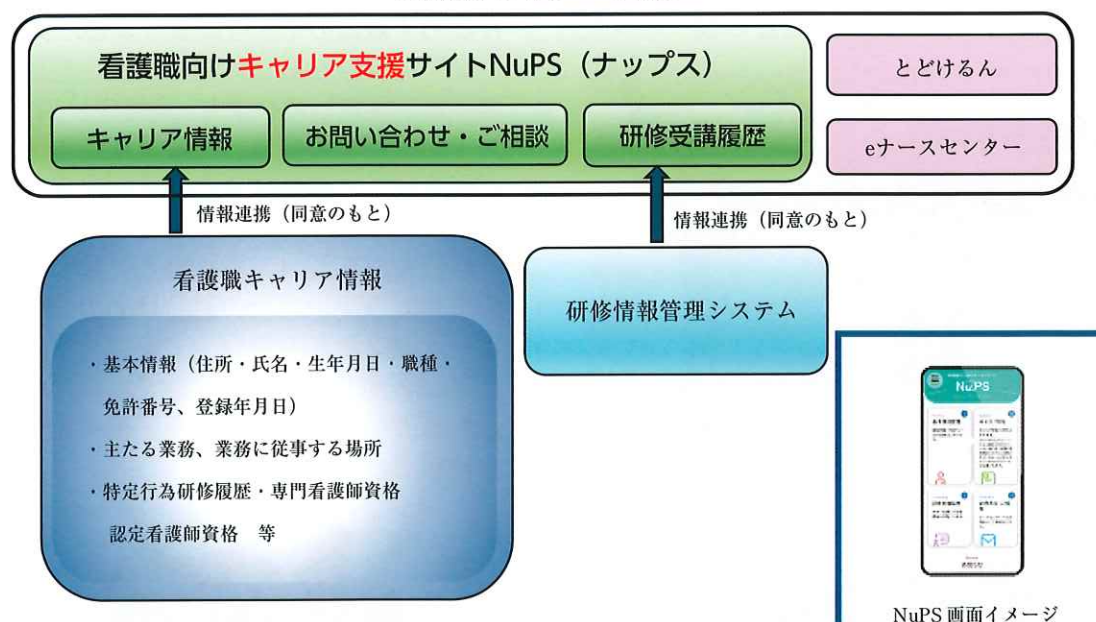
～2024年11月からサービス開始～

2022年5月にデジタル改革関連法が成立し、2024年度から医療関係資格（22種類）の有資格者に向け新たなサービスが展開されます。日本看護協会では、医療従事者届出のオンライン化やシステムを活用したキャリア情報の閲覧を可能にするだけでなく、資質向上の支援や潜在看護職に対する復職支援を可能とする新たなシステムの構築を進めてきました。

今回、看護職本人が看護職キャリア情報と研修受講履歴（2025.4月研修分から開始）を閲覧できる仕組みとして、看護職向けキャリア支援サイトNuPSを開設することになりました。これは現在働いている方、今は働いていない方、また資格をとったばかりの方など看護資格を持つ方全員が自分のキャリアを一元的に保存し、活用する事ができるものです。

詳しくは、日本看護協会の協会ニュース10月号に掲載されます。ちなみにNuPSとはNurse Portal Siteの意味を持ち、更に上に成長していくUPの意味と想いを込めています。

<NuPSのイメージ図>



【災害編】

【知っ得！ かんご】

今年度、つなぐ看護は「知っ得!かんご」をサブテーマとしました。県内の医療・福祉関連施設の取り組みを「知って得する」機会になればと思います。今号は災害編です。長野県で発生した災害当時の被災状況や活動内容についてお聞きしました。



千曲川

長野県立総合リハビリテーションセンター 看護部長 東條加代子

当センターは令和元年東日本台風で千曲川が氾濫し膝丈まで浸水しました。患者さんはDMATのご支援もあり被災当日には全員転院受け入れをしていただき幸いにも人的被害はありませんでした。

当時、私は被災した病棟の師長をしていました。被災前日の夕方に緊急招集で垂直避難指示があり、避難先の部屋割りや移動、看護物品の準備や職員への連絡、患者情報を含む非常持ち出し物品を点検し帰宅しました。当日の朝に再び招集がかかり、職場に到着して間もなく建物が浸水し停電となり病院機能が失われました。情報が遮断された状況での活動は大混乱を招きました。その日一日を過ごすことが精一杯で先



が読めず職員の不安は高まりました。

被災の経験をもとに避難計画を整備し垂直避難訓練を実施しています。避難先リスト、紙ベースでの医療情報作成、高額医療機器の避難先など何をどこに移動するか具体的に示してあります。

被災後、施設外避難訓練も体験しましたが医療依存度が高い患者の避難は命の危険を伴います。水害は事前準備が出来る災害ですが実際の被害は予測できません。地域全体が被災することもあるため広域での医療・福祉施設間での協力体制が必要です。



御嶽山

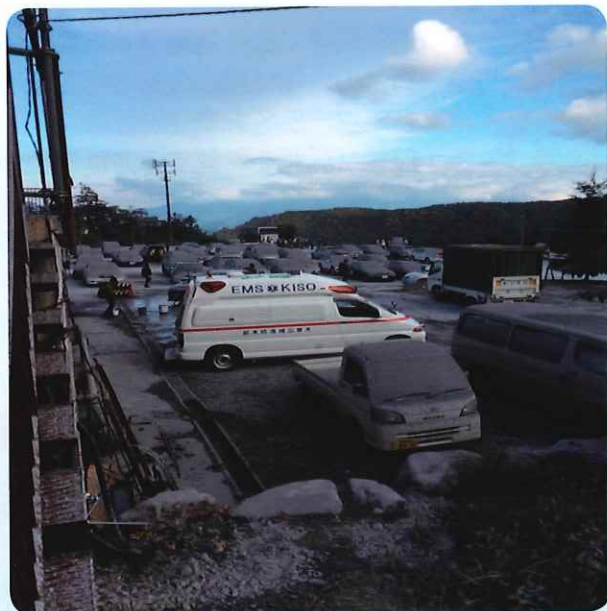
長野県立木曽病院

日本DMAT看護師 横山 恵子



10年前の2014年9月27日11時52分、御嶽山が噴火しました。私は休日だったため、テレビ速報で知りました。当院は木曽地域唯一の病院のため、この日も木曽消防署からDMATに派遣要請があり、発災から約3時間後の14時50分、木曽病院 DMATがおんたけロープウェイセンターハウスへ出動しました。隊員は私を含め医師1名、看護師4名、業務調整員1名の計6名でした。現場に到着すると1階ホールは、下山者や関係者で溢れかえっていたため、消防、DMAT、役場スタッフによる現場指揮所を2階に設営しました。錯綜する情報を共有し、迅速な診療、搬送に繋げるとともに、院内災害対策本部とも密に連絡とり、搬送等の調整を行いました。傷病者の多くは、軽症者でも火山灰の吸引により不快症状を訴え、山頂付近で下山不可能な傷病者は、翌日自衛隊ヘリなどで搬送しました。当院では院内災害対策本部、DMAT活動拠点本部を設置し、参集したDMAT隊は計30チーム（長野県内18チーム、県外から12チーム）と協力をしながら活動しました。発災3日目までの災害関連受け入れ傷病者総数は60名（緑37名、黄13名、赤10名、黒0名）でした。

私たちはこの噴火災害を経験した後、WGを中心に災害対応マニュアルの改訂や、エマルゴ訓練を実施し検証を行いました。連絡体制構築



としてオクレンジャーの整備や、災害救護訓練、研修会を毎年行っています。また、災害拠点病院として消防・保健福祉事務所などと連携し、木曽地域の災害時マニュアルの改訂、木曽地区災害医療救護訓練を行っています。



2024年4月より、災害支援ナースの仕組みがかわりました！ 詳細は→



次回は、タスク・シフト/シェア編です。

～長野県ナースセンターからのお知らせ～

看護力再開発研修会《福祉施設コース》のお知らせ



福祉の職場を知る研修です。病院以外の働き方を知ってみませんか？
参加した方からは、福祉施設での働き方、やりがいを知ることができた、
将来の働き方の参考になったと好評です。お友だちとの参加もOKです。
ご参加お待ちしております。

- *内 容：福祉現場で働く看護職から職場の説明と施設見学
- *対 象：福祉の職場に関心のある看護職
- *募集人員：各施設 5名まで（先着順）
- *参加費：無料（託児を希望する方はご連絡ください）
- *申込方法：右の長野県看護協会研修情報管理システム QR コードより
開催日 1週間前までにお申し込みください。
《研修コード 703》URL：<https://ezseminar.nursen.or.jp/>
- *お問合せ：長野県ナースセンター ☎ 0263-35-0067・FAX0263-34-0311



《日 程》

※ 本研修会は長野県委託事業の一環で実施しています。

地区	開催日時	会場
北信	9/26 (木) 10:00～12:00	稲荷山医療福祉センター
北信	10/16 (水) 10:00～12:00	社会福祉法人 若槻ホーム
中信	9/10 (火) 10:00～12:00	エフビー介護サービス(株) 看護小規模多機能 あったかほーむかまだ
中信	10/22 (火) 10:00～12:00	ディサービス美事
南信	9/24 (火) 10:00～12:00	社会福祉法人サン・ビジョン グレイスフル下諏訪
南信	11/7 (木) 13:30～15:30	特別養護老人ホーム 笑みの里
東信	9/25 (水) 13:30～15:30	特別養護老人ホーム ケアポートみまき
東信	10/30 (水) 13:30～15:30	介護付き有料老人ホーム ケアライフ古里

そろそろリフォームを考えたいけど
何から手を付ければいいのか…。

こんなあなたには…

資料請求・お問い合わせ
詳細はコチラ！ →

住友不動産の新築そっくりさん 0120-456-204

デザインコンシャスな感性に響く、
スマートクロスオーバー。

MAZDA CX-3
15S Vivid Monotone

特別仕様車

甲信マツダ

<https://www.koushin-mazda.co.jp>

水と、
空気と、
睡眠と。

TUK 東洋羽毛

あなたの資産づくり計画
はじめませんか。

新しいNISA

詳しくは店頭またはWEBで

八十二銀行